

第36回

全日本民医連

民医連

循環器懇話会in北海道

テーマ

民医連循環器3.0

～未来にむかってバージョンアップ～

会期 2019年11月1日金・2日土

会場 シャトレーゼ ガトーキングダム サッポロ

〒002-8043 札幌市北区東茨戸132番地

実行委員長 奥山 道記

勤医協中央病院 心臓血管センター センター長

プログラム・抄録集



第36回 全日本民医連 循環器懇話会in北海道

プログラム・抄録集

テーマ

民医連循環器3.0 ～未来にむかってバージョンアップ～

会期

2019年11月1日 金・2日 土

会場

シャトレーゼ ガトーキングダム サッポロ

〒002-8043 札幌市北区東茨戸132番地

実行
委員長

奥山 道記

勤医協中央病院 心臓血管センター センター長

第36回全日本民医連循環器懇話会in北海道
実行委員会 事務局

五味川 卓 (勤医協中央病院 医事2課)

〒007-8505 北海道札幌市東区東苗穂5条1丁目9-1

TEL:011-782-9111(代) FAX:011-782-5451

E-mail:ikyoku-j@kin-ikyo-chuo.jp

第36回全日本民医連循環器懇話会 in 北海道

実行委員長 挨拶

第36回全日本民医連循環器懇話会 in 北海道

実行委員長 奥山 道記

公益社団法人北海道勤労者医療協会

勤医協中央病院 心臓血管センター センター長

この度、第36回全日本民医連循環器懇話会を2019年11月1日(金)、2日(土)の2日間にわたりシャトレーゼ ガトーキングダム サッポロ(札幌市北区)において開催させていただくことになりました。第18回を北海道(小樽市)で開催してから17年ぶりであり、このような機会を与えてくださった研究会世話人はじめ関係各位に厚く御礼申し上げます。

今回の懇話会テーマは「民医連循環器3.0 ～未来にむかってバージョンアップ～」とさせて頂きました。元号も新たに新時代へと移りましたが、医療の進歩も日々ニュースが絶えません。近い将来5G時代へ突入しIoT・AI・ビッグデータ・ロボティクス・VRなどの技術革新とともに、超少子高齢社会へ向けて医療分野もゲノム医療をはじめ各診断治療支援など新たなフェーズへ突入していくでしょう。

民医連医療も例外なくその影響を受けていきます。さらに10年後、20年後、私たちは今と同じ理念で医療を続けられるのか、続けていくべきなのか。未来の民医連について少しでも考えるきっかけとなれば幸いです。

今回の記念講演は、循環器分野だけにとどまらない未来の医療について最先端の話が聞きたいという実行委員長のわがままをきいてもらい、東京医科歯科大学の三林浩二先生に「健康医療IoT 社会の実現のための非侵襲センシング」という題名でお話しして頂きます。

シンポジウムでは「超少子高齢社会における民医連循環器医療のアプローチ」というテーマで高齢者医療特有の悩みや課題、また未来への展望などをそれぞれの立場のシンポジストからお話頂き、議論を通して皆様の今後にお役立て頂きたいと思います。

夜の交流会は、北海道の美味美酒を味わいながら楽しい会となるような企画も用意しております。またホテルには広い温泉、室内温水プールなどのスパリゾートもあり、札幌には名所なども多くございますので、お帰りまで時間の許す限り北海道を堪能して頂ければ幸いです。

11月の札幌は降雪の可能性もある中、遠路はるばるご参加される皆様には大変ご面倒をお掛けしますが、実行委員会一同全力を挙げて取り組んでおりますので、ご支援の程何卒宜しくお願い申し上げます。

第36回全日本民医連循環器懇話会 in 北海道

実行委員一覧

実行委員長 奥山 道記(中央病院 医局)

副実行委員長 郡司 尚玲(中央病院 医局)

事務局 長 五味川 卓(中央病院 医事2課)

事務局 次長 高橋 立史(中央病院 事務次長)

事務局 幕内 智子(中央病院 医師)

吉村 喬樹(中央病院 医師)

石井ひづる(中央病院 保健師)

佐藤 理恵(中央病院 看護師)

柿崎 正詞(中央病院 臨床工学技士)

菅原 博征(中央病院 放射線技師)

秋葉 直人(中央病院 検査技師)

石島めぐみ(中央病院 理学療法士)

西浦 博美(中央病院 事務)

斉藤久美子(中央病院 事務)

臼井 捺美(中央病院 事務)

実行委員 小浪 佑太(中央病院 医師)

大江勇太郎(中央病院 医師)

立島 秀也(中央病院 臨床工学技士)

清水 雄介(中央病院 検査技師)

内潟 翔太(中央病院 理学療法士)

桑原 佳恵(中央病院 管理栄養士)

鈴木 康崇(中央病院 薬剤師)

森 克彦(中央病院 事務)

佐藤 和穂(札幌西区病院 事務)

在原 晶子(新道ひまわり薬局 薬剤師)

上原 拓樹(中央病院 医師)

中澤 晶子(中央病院 看護師)

大西 健児(中央病院 放射線技師)

中野佐和子(中央病院 検査技師)

佐藤 雅(中央病院 作業療法士)

岩崎 唯(中央病院 管理栄養士)

柳田 光庸(中央病院 事務)

鎌田 修平(本部事務局 事務)

長岡麻紀子(ぽぷらクリニック 看護師)

参加者へのご案内

■受付について

- ◇1日目：シャトレゼ ガトーキングダム サッポロ 1階 ホワイエで、13：30より行います。
- ◇2日目：シャトレゼ ガトーキングダム サッポロ 1階 ホワイエで、8：30より行います。
- ◇受付で当日資料、参加証、ネームホルダーをお渡しします。
※会場内では必ず参加証を着用下さい。参加証のない方は入場できません。
- ※1日目に受付を行った方は、2日目の受付は必要ありません。各分科会会場に直接おいで下さい。

■クロークについて

- ◇1日目のお荷物は、シャトレゼ ガトーキングダム サッポロ 1階 メルロで保管可能です。
貴重品、PC等のご自分でお持ち下さい。

■交流会について

- 日 時：2019年11月1日（金）18：00～受付 18：30～開会
- 場 所：シャトレゼ ガトーキングダム サッポロ 1階 メルロ
- ◇事前予約の方のみとなっています。
- ◇事前予約された方の参加証には、交流会シールが貼られています。
- ◇参加証を着用の上、ご参加下さい。
- ◇二次会会場を用意しています。交流会終了後利用可能です。詳細につきましては当日ご案内します。

■優秀演題賞について

- ◇優秀演題賞は、2日目に発表させていただきます。

■そ の 他

- ◇会場内では、携帯電話の電源をお切りいただくか、マナーモードに設定して下さい。尚、会場内での通話をご遠慮下さい。
- ◇会場内での呼出しは、原則として行いません。緊急の場合は、受付へお申し出下さい。
- ◇講演会場内での撮影・録音をご遠慮下さい。

分科会のすすめ方と演者のみなさまへ

■分科会

◇2日(2日目)の午前に6会場に分かれて同時に行います。

■スライド(パワーポイント)について

◇やむを得ず差し替えが必要な方は、1日目の受付でお申し出下さい。

■演題発表について

◇発表はすべてスライド形式で口演とし、発表時間6分、討論2分とします。5分で予鈴を鳴らします。6分で2回ベルを鳴らします。時間内で発表が終わるようにご準備下さい。

◇パソコン操作は発表者ご自身でお願いします。

◇演者次席を各会場前方に用意します。スケジュールをご確認いただき、準備をお願いします。

◇演題表彰を設けます。2日目に発表させていただきます。

分科会座長のみなさまへ

この度は分科会座長をお引き受け頂きまして、誠にありがとうございます。運営につきまして、以下の点にご留意下さいますようお願い致します。

◇発表時間6分、討論2分の合計8分です。タイムキーパーが5分の時点で予鈴を1回、6分超過で2回ベルを鳴らします。

◇座長団会議を1日目シンポジウム終了後開催しますのでお集まり下さい。

◇運営上の不都合や問題点が発生しましたら、お近くの実行委員または要員までお申し出下さい。

交通案内



お車をご利用の場合

- 新千歳空港から 約60分（道央自動車道：千歳I.C.より～札幌自動車道：札幌北I.C.経由）
- JR札幌駅から 約30分
- 地下鉄南北線麻生（あざぶ）駅から 約20分
- 丘珠空港から 約20分

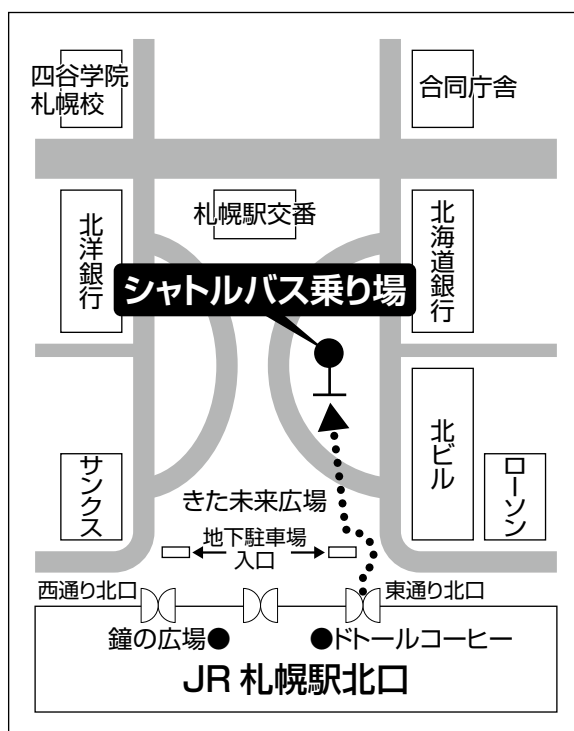
JRをご利用の場合

- JR新千歳空港駅から快速エアポート(15分毎運行)で札幌駅まで 約37分
- 札幌駅北口団体バス乗り場より無料シャトルバスで 約40分

※札幌駅北口、地下鉄麻生（あざぶ）駅から、ホテルまでの無料シャトルバスが運行しています。
バスの運行時刻、バス乗り場はシャトレゼガトーキングダムサッポロのホームページでご確認ください。

■ JR札幌駅－会場(ガトーキングダム)間の無料シャトルバスのご案内

- 札幌駅北口
シャトルバス乗り場



■ ガトーキングダム・シャトルバス時刻表

1日目 11月1日(金)

● 札幌駅北口発

停留所：
札幌駅北口
→ 地下鉄麻生駅前
→ ガトーキングダム

発	着
札幌駅北口	ガトーキングダム
9:00	9:40
11:00	11:40
12:30 ※臨時バス	13:10 ※臨時バス
13:00	13:40
16:00	16:40
18:00	18:40
20:00	20:40
21:55	22:35

● ガトーキングダム発

停留所：
ガトーキングダム
→ 地下鉄麻生駅前
→ 札幌駅北口

発	着
ガトーキングダム	札幌駅北口
8:00	8:40
10:00	10:40
12:10	12:50
15:00	15:40
17:00	17:40
19:10	19:50
21:00	21:40

2日目 11月2日(土)

● 札幌駅北口発

停留所：
札幌駅北口
→ 地下鉄麻生駅前
→ ガトーキングダム

発	着
札幌駅北口	ガトーキングダム
9:00	9:40
10:00	10:40
11:00	11:40
12:10	12:50
13:00	13:40
14:00	14:40
15:00	15:40
16:00	16:40
17:00	17:40
18:00	18:40
19:10	19:50
20:00	20:40
21:00	21:40
21:55	22:35

● ガトーキングダム発

停留所：
ガトーキングダム
→ 地下鉄麻生駅前
→ 札幌駅北口

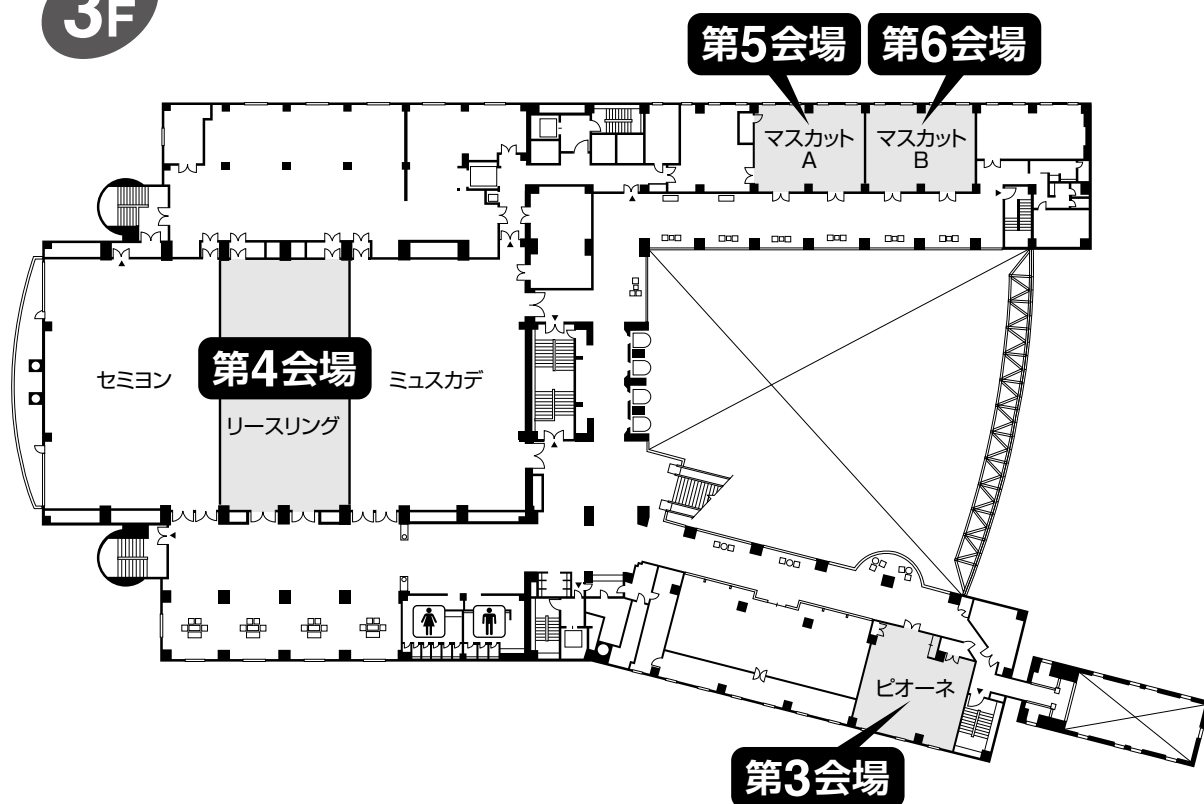
発	着
ガトーキングダム	札幌駅北口
8:00	8:40
9:00	9:40
10:00	10:40
11:00	11:40
12:10	12:50
12:45 ※臨時バス	13:25 ※臨時バス
13:00	13:40
14:00	14:40
15:00	15:40
16:00	16:40
17:00	17:40
18:00	18:40
19:10	19:50
20:00	20:40
21:00	21:40

会場案内図

1F



3F



日 程 表

1日目 11月1日金	
第1会場 1階 ピノノアール	
13:30	13:30～ 受付開始
14:00	14:00～ 開 会 式
15:00	14:30～15:45 特別講演 健康医療IoT 社会の 実現のための非侵襲センシング 三林 浩二 東京医科歯科大学 座長：奥山 道記 勤医協中央病院
16:00	16:00～17:45 シンポジウム 超少子高齢社会における 民医連循環器医療のアプローチ 中野 治 国分生協病院 古田 陽介 勤医協中央病院 橋本 司 甲府共立病院 井原 ひとみ 松江生協病院 川口 篤也 函館後北病院 内藤 貴之 あおもり協立病院 郡司 尚玲 勤医協中央病院
17:00	
18:00	
19:00	18:30～20:30 交 流 会 会場：1階 メルロ

2日目 11月2日土		
第1会場 1階 ピノノアール		第2～6会場 1階・3階
8:30	8:30～ 受付開始	
9:00	9:00～11:45 分 科 会 分科会 A1 座長：川畑 恵 勤医協中央病院 第1会場(1階 ピノノアール) 鈴木 康崇 勤医協中央病院 分科会 A2 座長：澤紙 秀太 沖縄協同病院 第1会場(1階 ピノノアール) 豊田 文俊 千鳥橋病院 分科会 B1 座長：鈴木 隆司 勤医協中央病院 第2会場(1階 メルロ) 石井 ひづる 勤医協中央病院 分科会 B2 座長：吉村 喬樹 勤医協中央病院 第2会場(1階 メルロ) 大江 勇太郎 勤医協中央病院 分科会 C1 座長：上原 拓樹 勤医協中央病院 第3会場(3階 ピオーネ) 柿崎 正詞 勤医協中央病院 分科会 C2 座長：郡司 尚玲 勤医協中央病院 第3会場(3階 ピオーネ) 奥平 知世子 甲府共立病院 分科会 D1 座長：平田 雅子 鳥取生協病院 第4会場(3階 リースリング) 石島 めぐみ 勤医協中央病院 分科会 D2 座長：佐宗 真由美 甲府共立病院 第4会場(3階 リースリング) 橋本 司 甲府共立病院 分科会 E1 座長：鈴鹿 裕城 耳原総合病院 第5会場(3階 マスカット A) 阿部 孝 勤医協中央病院 分科会 E2 座長：田場 正直 健和会大手町病院 第5会場(3階 マスカット A) 濱田 一路 坂総合病院 分科会 F1 座長：鈴木 健太郎 松江生協病院 第6会場(3階 マスカット B) 佐藤 理恵 勤医協中央病院 分科会 F2 座長：奥山 道記 勤医協中央病院 第6会場(3階 マスカット B) 今野 大輔 勤医協中央病院	
10:00		
11:00		
12:00	12:00～12:30 閉会式 優秀演題の発表・表彰	

プログラム

11月1日(金)

受付開始 13:30～ (1階 ホワイエ)

開 会 式 14:00～

第1会場(1階 ピノノアール)

◆オープニング 総合司会 石井 ひづる 勤医協中央病院 看護師

◆実行委員長あいさつ 奥山 道記 勤医協中央病院 心臓血管センター長

◆開催県連あいさつ 北海道民医連会長からのメッセージ

◆世話人会代表あいさつ 鈴木 隆司 勤医協中央病院 院長

◆第36回懇話会のテーマ
「民医連循環器3.0 ～未来に向かってバージョンアップ～」

第36回全日本民医連循環器懇話会 in 北海道 実行委員長
奥山 道記 勤医協中央病院 心臓血管センター長

特別講演 14:30～15:45

第1会場(1階 ピノノアール)

座長：奥山 道記(勤医協中央病院 心臓血管センター長)

健康医療 IoT 社会の実現のための非侵襲センシング

三林 浩二 国立大学法人東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 教授

休 憩 15:45～16:00

シンポジウム 16:00～17:45

第1会場(1階 ピノノアール)

超少子高齢社会における民医連循環器医療のアプローチ

医 師：	中野 治	鹿児島・国分生協病院 診療部長
ソーシャルワーカー：	古田 陽介	北海道・勤医協中央病院 事務次長
理学療法士：	橋本 司	山梨・甲府共立病院
看 護 師：	井原 ひとみ	島根・松江生協病院
医 師：	川口 篤也	北海道・函館稜北病院 副院長
コーディネーター：	内藤 貴之	あおもり協立病院 医長
	郡司 尚玲	勤医協中央病院 医長 (第36回全日本民医連循環器懇話会 in 北海道 副実行委員長)

休憩・移動・チェックイン 17:45～18:30

交流会受付開始 18:00～ (1階 メルロ)

交 流 会 18:30～20:30 (1階 メルロ)

進行	大江 勇太郎	勤医協中央病院 医師
	小原 愛	勤医協中央病院 看護師

11月2日(土)

受付開始 8:30～ (各会場)

分科会 9:00～11:45

分科会 A1	心不全・緩和	A1-01～A1-07	第1会場(1階 ピノノアール)
分科会 A2	心不全・緩和	A2-08～A2-15	第1会場(1階 ピノノアール)
分科会 B1	患者指導・チーム医療	B1-01～B1-07	第2会場(1階 メルロ)
分科会 B2	患者指導・チーム医療	B2-08～B2-14	第2会場(1階 メルロ)
分科会 C1	不整脈関連 + エコー	C1-01～C1-07	第3会場(3階 ピオーネ)
分科会 C2	不整脈関連 + エコー	C2-08～C2-14	第3会場(3階 ピオーネ)
分科会 D1	リハ	D1-01～D1-07	第4会場(3階 リースリング)
分科会 D2	リハ	D2-08～D2-15	第4会場(3階 リースリング)
分科会 E1	虚血	E1-01～E1-07	第5会場(3階 マスカット A)
分科会 E2	虚血	E2-08～E2-14	第5会場(3階 マスカット A)
分科会 F1	カテ関連・その他	F1-01～F1-08	第6会場(3階 マスカット B)
分科会 F2	カテ関連・その他	F2-09～F2-15	第6会場(3階 マスカット B)

休憩・移動 11:45～12:00

閉会式・優秀演題の発表・表彰 12:00～12:30

第1会場(1階 ピノノアール)

総司会：石井 ひづる(勤医協中央病院 看護師)

◆優秀演題の発表・表彰

プレゼンター：鈴木 隆司

全日本民医連循環器懇話会 世話人代表
勤医協中央病院 院長

◆次回開催県連からのあいさつ

◆閉会のあいさつ

第36回全日本民医連循環器懇話会 in 北海道 実行委員長
奥山 道記 勤医協中央病院 心臓血管センター長

分科会 プログラム

11月1日(金)

分科会 A1 9:00～11:45

第1会場(1階 ピノノアール)

[心不全・緩和]

座長：川畑 恵(勤医協中央病院)
鈴木 康崇(勤医協中央病院)

A1-01 循環器疾患に潜む COPD ～キーワードは心肺連関～

福岡・佐賀民医連 豊田 文俊(医師)
千鳥橋病院

A1-02 心不全患者の最大酸素摂取量は推算糸球体濾過量に相関する

長野民医連 須永 義弘(理学療法士)
松本協立病院

A1-03 心疾患を合併した糖尿病患者の糖尿病性腎症の病期進行に関する実態調査

沖縄民医連 赤嶺 勝(看護師)
協同にじクリニック

A1-04 心不全入院患者の経口利尿薬に関する実態調査

沖縄民医連 澤紙 秀太(医師)
沖縄協同病院

A1-05 トルバプタン導入後の使用状況調査

大阪民医連 村田 衣梨(薬剤師)
耳原総合病院

A1-06 当院心不全患者における服薬数と服用回数の現状調査

沖縄民医連 平識 ゆき(薬剤師)
沖縄協同病院

A1-07 慢性心不全患者の内服自己中断が一因で再入院となってしまった一例

群馬民医連 町田 恵美(薬剤師)
利根中央病院

[心不全・緩和]

座長：澤紙 秀太(沖縄協同病院)
豊田 文俊(千鳥橋病院)

A2-08 アドバンスケアプランニングに対する取り組み
～心臓リハビリ通院患者に対して～

沖縄民医連 山城 智恵子(看護師)
沖縄協同病院

A2-09 心不全患者・家族のライフストーリーからナラティブに意思決定支援について考える

沖縄民医連 山城 美香(看護師)
沖縄協同病院

A2-10 末期心不全の緩和ケアを考える
～ACP 導入後の患者・家族のケアを通して～

鹿児島民医連 吉松 桃香(看護師)
鹿児島生協病院

A2-11 当院における心不全緩和ケアの現状と今後の課題

千葉民医連 佃 陽子(看護師)
船橋二和病院

A2-12 心不全終末期患者における緩和ケア病棟の役割

北海道民医連 川畑 恵(医師)
勤医協中央病院

A2-13 終末期である A 氏を「最期まで見送ってあげたい」という家族の思い

東京民医連 小野里 将江(看護師)
東葛病院

A2-14 終末期ケアを心不全チームで考える
～デスカンファレンスで振り返る～

※シンポジウムにて発表

島根民医連 井原 ひとみ(看護師)
松江生協病院

A2-15 地方一般病院における心不全入院患者の実態
—社会的背景に着目した登録研究—

※シンポジウムにて発表

島根民医連 中野 治(医師)
国分生協病院

[患者指導・チーム医療]

座長：鈴木 隆司(勤医協中央病院)
石井 ひづる(勤医協中央病院)

B1-01 心不全の状態把握と情報利用に関するアンケート調査報告
～ Nohria-Stevenson を使いこなせるか？～

鹿児島民医連 中野 治(医師)
国分生協病院

B1-02 心不全実態調査を通して見えてきたもの
～心不全再発予防に向けた取り組み～

沖縄民医連 呉屋 美咲(看護師)
沖縄協同病院

B1-03 有効な心不全手帳の活用を目指して
～セルフモニタリングの重要性～

福岡・佐賀民医連 村上 茉友香(看護師)
千鳥橋病院

B1-04 心不全指導の方法を考えてみる
～在宅調査を行なって～

大阪民医連 平田 陽奈(看護師)
耳原総合病院

B1-05 栄養指導の充実に向けて

大阪民医連 梁 晶子(管理栄養士)
耳原総合病院

B1-06 心不全アナム聴取における管理栄養士の取り組みとその改善にむけて

北海道民医連 桑原 佳恵(管理栄養士)
勤医協中央病院

B1-07 心不全患者の再入院とその生活背景

福岡・佐賀民医連 明時 洸佑(看護師)
健和会大手町病院

[患者指導・チーム医療]

座長：吉村 喬樹(勤医協中央病院)
大江 勇太郎(勤医協中央病院)

B2-08 抑うつを合併した心不全患者に対する看護
～頑張る力のために～

島根民医連 西河内 美希(看護師)
松江生協病院

B2-09 慢性心不全で入退院を繰り返す患者への療養支援

北海道民医連 田中 尚子(看護師)
勤医協中央病院

B2-10 入退院を繰り返す心不全患者との関わり

福岡・佐賀民医連 近藤 誠(看護師)
健和会大手町病院

B2-11 腎不全を合併した心不全入院を繰り返す患者へ透析導入までのチームアプローチに難渋した症例

大阪民医連 西野 遼太(理学療法士)
耳原総合病院

B2-12 多職種協働での心不全チームの活動

福岡・佐賀民医連 佐々木 拓也(医師)
千鳥橋病院

B2-13 下肢虚血患者の退院時指導の効果

北海道民医連 石井 ひづる(看護師)
勤医協中央病院

B2-14 足趾切断術前の認知症患者へのチームアプローチ

北海道民医連 安藤 千晶(看護師)
勤医協中央病院

分科会 C1 9:00～11:45

第3会場(3階 ピオーネ)

[不整脈関連 + エコー]

座長：上原 拓樹(勤医協中央病院)
柿崎 正詞(勤医協中央病院)

C1-01 当院における心房細動アブレーション治療導入に向けての取り組み

山梨民医連 奥平 千世子(看護師)
甲府共立病院

C1-02 アブレーションパスの作成 ～よりよい看護の提供を目指して～

福岡・佐賀民医連 小城 麻美(保健師)
千鳥橋病院

C1-03 カテーテルアブレーション術後患者へのパンフレットを用いた退院指導

島根民医連 山本 真衣(看護師)
松江生協病院

C1-04 国分生協病院でのペースメーカー・不整脈デバイス管理の歩みと今後の課題

鹿児島民医連 松田 直子(看護師)
国分生協病院

C1-05 当院における心臓植込型デバイス遠隔モニタリングデータ電子化への取り組み

長野県民医連 大野 寛司(事務)
健和会病院

C1-06 当院における遠隔モニタリング運用について

大阪民医連 林 直輝(臨床工学技士)
耳原総合病院

C1-07 植込み型心臓モニタによる失神の精査によって徐脈性不整脈を検出できた1例

北海道民医連 高橋 優介(臨床工学技士)
勤医協中央病院

分科会 C2 9:00～11:45

第3会場(3階 ピオーネ)

[不整脈関連 + エコー]

座長：郡司 尚玲(勤医協中央病院)
奥平 知世子(甲府共立病院)

C2-08 院内にて CPA となった Brugada 症候群の1例

大阪民医連 飯田 和貴(医師)
耳原総合病院

C2-09 徐脈依存性 LQTS に苦痛を伴い、Torsades de Pointes を来した高齢女性
— 看取りの方針から、緩和治療を契機に改善へと繋がった1症例 —

群馬民医連 小林 祐介(看護師)
利根中央病院

C2-10 退院した患者を救えるのか～あなたに生きていてほしい～

大阪民医連 田中 理沙(看護師)
耳原総合病院

C2-11 心臓 CT にて発見された左心耳血栓

鹿児島民医連 徳満 美帆(放射線技師)
鹿児島生協病院

C2-12 セクタ型プローブにおけるカラードプラ法と赤血球数の相関の有無についての検討

北海道民医連 清水 雄介(臨床検査技師)
勤医協中央病院

C2-13 トラスツマブ投与患者における心エコー検査のまとめ

北海道民医連 西野 有香(検査技師)
勤医協中央病院

C2-14 川崎病による冠動脈瘤形成を通して考えさせられた超音波検査のピットホール

鹿児島民医連 鮎川 佳生(臨床検査技師)
鹿児島生協病院

[リハ]

座長：平田 雅子(鳥取生協病院)
石島 めぐみ(勤医協中央病院)

D1-01 認知機能検査に伴い不整脈が出現した外来心不全症例を経験して
～認知機能検査実施時のリスク管理の必要性～

新潟民医連 五十嵐 徹(作業療法士)
下越病院

D1-02 外来心リハ患者の口腔内実態調査

群馬民医連 高橋 佐知子(歯科衛生士)
利根中央病院

D1-03 外来心臓リハビリテーション利用患者における栄養障害と身体機能評価

福岡民医連 土田 沙夕(理学療法士)
千鳥橋病院

D1-04 病棟看護師による心臓リハビリテーション拡大への取り組み

群馬民医連 柴崎 芳光(看護師)
利根中央病院

D1-05 心臓リハビリテーションの標準化を目指した評価表の作成

福岡・佐賀民医連 末武 佑一(理学療法士)
米の山病院

D1-06 集団心臓リハビリテーションを実施した高齢心不全患者における
腎機能障害が歩行自立度へ及ぼす影響

福岡・佐賀民医連 中西 雄紀(理学療法士)
健和会大手町病院

D1-07 当院心臓リハビリテーション外来の現状と課題

山梨民医連 前嶋 康路(理学療法士)
甲府共立病院

[リハ]

座長：佐宗 真由美(甲府共立病院)
橋本 司(甲府共立病院)

D2-08 疾病管理に関心が無いにも関わらず外来心臓リハビリテーションを
長期継続できた心筋梗塞の1症例

福岡・佐賀民医連 松本 稜(理学療法士)
千鳥橋病院

D2-09 拡張型心筋症と塵肺 + COPD 患者の心不全増悪による再入院予防に向けたアプローチの報告

長野民医連 宮坂 和幸 (理学療法士)
松本協立病院

D2-10 自営業復帰を目指した心筋梗塞の症例

青森民医連 清野 恭平 (作業療法士)
あおもり協立病院

D2-11 末期心不全患者に対する作業療法の関わり

北海道民医連 小坂部 圭二 (作業療法士)
勤医協中央病院

D2-12 ABC 認知症スケールを使用した作業療法士の一経験
～慢性心不全患者を通して～

新潟民医連 田村 梨紗 (作業療法士)
下越病院

D2-13 社会的困難さを背景に持つ40代の拡張型心筋症患者への
心臓リハビリテーションの取り組み

鳥取民医連 平田 雅子 (医師)
鳥取生協病院

D2-14 心臓手術後の高齢維持透析患者に対する終末期心臓リハビリテーションの一例

千葉民医連 関口 紗千 (医師)
船橋二和病院

D2-15 心リハ外来患者会活動『リ・スマイル』班参加の有無と
心臓リハビリテーション継続率について

山梨民医連 橋本 司 (理学療法士)
甲府共立病院

※シンポジウムにて発表

分科会 E1 9:00～11:45

第5会場 (3階 マスカット A)

[虚 血]

座長：鈴鹿 裕城 (耳原総合病院)
阿部 孝 (勤医協中央病院)

E1-01 EES 留置5年後に PSS を伴う VLST を発症した病変に対し、
PCI を試みた結果、経時的に瘤状の構造物を形成した1例

福岡・佐賀民医連 真鍋 徹也 (臨床工学技士)
千鳥橋病院

E1-02 RFR による虚血診断の評価

山梨民医連 深澤 宏基 (臨床工学技士)
甲府共立病院

E1-03 機能的心筋虚血評価を施行することの重要性

宮城民医連 橋本 将太(臨床工学技士)
坂総合病院

E1-04 より良い ECPR を目指して

大阪民医連 増井 亮仁(臨床工学技士)
耳原総合病院

E1-05 心臓カテーテル検査及び治療における遠位橈骨アプローチを導入して

宮城民医連 湯田 真由美(看護師)
坂総合病院

E1-06 心臓カテーテル時の遠位橈骨動脈穿刺についての比較調査

山梨民医連 井上 良(看護師)
甲府共立病院

E1-07 より低侵襲を目指した心臓カテーテル検査及び治療における遠位橈骨動脈アプローチ

宮城民医連 平澤 樹(医師)
坂総合病院

分科会 E2 9:00～11:45

第5会場(3階 マスカット A)

[虚 血]

座長：田場 正直(健和会大手町病院)
濱田 一路(坂総合病院)

E2-08 急性心筋梗塞後の左室心尖部壁在血栓に対し、DOAC にて治療した症例

福岡・佐賀民医連 京山 一樹(医師)
健和会大手町病院

E2-09 LMT の高度石灰化を伴う急性心不全患者に対し左上腕動脈から IABP 挿入し PCI し得た 1 例

大阪民医連 鈴鹿 裕城(医師)
耳原総合病院

E2-10 完全内臓逆位に対する PCI の一例

千葉民医連 大賀 真緒(医師)
船橋二和病院

E2-11 診断に苦慮した NSTEMI の 1 例

福岡・佐賀民医連 和泉 遼(医師)
健和会大手町病院

E2-12 RCA AMI に primary PCI 後、LCX 入口部を DCA+DCB、LAD 入口部に DES 留置を施行した LMT 分岐部病変

群馬民医連 山口 実穂 (医師)
利根中央病院

E2-13 急性心筋梗塞を発症した冠動脈拡張症の1例

鹿児島民医連 春田 弘昭 (医師)
鹿児島生協病院

E2-14 労作時失神の精査で入院し、右冠動脈狭窄を認め冠動脈形成術 (PCI) を施行した一例

山梨民医連 笹本 なごみ (医師)
甲府共立病院

分科会 F1 9:00～11:45

第6会場 (3階 マスカット B)

[カテ関連・その他]

座長：鈴木 健太郎 (松江生協病院)
佐藤 理恵 (勤医協中央病院)

F1-01 心筋梗塞クリニカルパス改訂への取り組み

福岡・佐賀民医連 佐藤 真衣 (看護師)
千鳥橋病院

F1-02 当院緊急カテーテル検査における Door to balloon time について

福岡・佐賀民医連 荒木 紀吏 (看護師)
千鳥橋病院

F1-03 カテ記録電子化、簡素化への取り組み

福岡・佐賀民医連 川口 陽子 (看護師)
千鳥橋病院

F1-04 モニター心電図学習会の取り組み～スキルアップ～を目指して～

東京民医連 高橋 春奈 (看護師)
立川相互病院

F1-05 コミュニケーション技法から検査治療における術前術後訪問の改善が必要と考えた事例～視聴覚障害者との関わりから学んだ事

青森民医連 八木橋 生美 (看護師)
あおもり協立病院

F1-06 カテ室における医療安全への取り組み「Final check」を始めました

大阪民医連 森本 貴大 (看護師)
耳原総合病院

F1-07 気持ちの良い環境作り
～5S 活動を通して～

島根民医連 白石 理愛(看護師)
松江生協病院

F1-08 当院でのカテーテルカンファレンスの取り組みについて

島根民医連 小草 由枝(看護師)
松江生協病院

分科会 F2 9:00～11:45

第6会場(3階 マスカットB)

[カテ関連・その他]

座長：奥山 道記(勤医協中央病院)
今野 大輔(勤医協中央病院)

F2-09 水晶体防護してますか？

山梨民医連 萩原 裕(診療放射線技師)
甲府共立病院

F2-10 プロテクターの管理方法

山梨民医連 河西 佑樹(放射線技師)
甲府共立病院

F2-11 カテ室新装置における新機能 CBCT の使用報告

北海道民医連 脇坂 謙一郎(診療放射線技師)
勤医協中央病院

F2-12 当院の透析患者に対する冠動脈 CT 検査の調査

大阪民医連 前田 純(放射線技師)
耳原総合病院

F2-13 初期研修医のよりスムーズな「On The Job Training」を可能にする取り組みの報告

島根民医連 間口 大公(医師)
松江生協病院

F2-14 たこつぼ型心筋症に心タンポナーデを合併した一症例

大阪民医連 鷺見 宗一郎(医師)
耳原総合病院

F2-15 重度大動脈弁狭窄症患にに対するバルーン形成術を施行した3症例の検討および
当院初の施行にいたるまでの経過報告

島根民医連 鈴木 健太郎(医師)
松江生協病院

Handwriting practice lines consisting of 24 horizontal dashed lines.

特別講演

11月1日(金) 14:30～15:45 第1会場(1階 ピノノール)

健康医療 IoT 社会の実現のための 非侵襲センシング

三林 浩二

国立大学法人東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 教授

世界の先進国では高齢化が進み、65歳以上の人口が総人口に占める割合を示す「高齢化率」はいずれの国もすでに15%（2018年時点）を超えている。その中でも日本は2018年には28%を超え、2065年には38%に達し、少子化の影響もあり75歳以上の人口割合は2050年には20%を超えることが予測されている。世界が直面したことのない超高齢化社会を、日本が先んじて向かえることになる。そして如何に健康的な社会を構築していくか、それはまた世界が今後直面する高齢化社会を日本が自らの実体験を持ってリードする機会でもある。

日本においてもこの10年、「医療・介護・健康分野のICT活用」の構築がうたわれており、医療や健康科学の領域において Wearable Biomedical Sensors and Systems や Body Sensor Network (BSN)、Body Area Network (BAN) などの学術研究が活性化し、生体情報をリアルタイムで常に計測するデバイスや技術が求められている。特に生体の化学／生化学情報を如何に捉え、情報化を行なうかが大きな課題である。化学／生化学情報を測定する時に、採血などを行わず、身体を傷つけない非侵襲的な計測が求められるが、今後の健康社会を構築するには「無意識生体計測」が不可欠である。つまり採血や侵襲どころから、計測していることを被験者がまったく意識しない、そのような無意識センシング技術が今後の生体計測（物理、化学、生化学）には必要である（もちろん、健康に関する個人情報である「健康ビックデータ」や、病院などの医療機関との情報共有と医療管理、セキュリティなどを処理できる情報システムが求められる）。

実は「無意識計測」はすでに社会に広く受け入れられている。例えば、自動車のセンサシステムがその例である。自動車には数百のセンサが取り付けられ、エンジンの状態を調べたり、車室内の環境をモニタリングしたり、安全運転を可能とする動作を可能としたりしている。しかし普段は計測していることはドライバーに伝えることなく、「いざ」と言う時には確実に機能して、安全や安心を確保する。実は、このようなセンシング技術はあらゆる社会システムにおいて一般化している。この「対象者に意識させないセンシング」は、生体計測（健康計測）が医療現場から一般社会に展開する上で極めて重要となる。例えば、生体計測機器が小型で、生体への融和性に高く、意識することなく連続的に生体情報をモニタリングが可能となれば、慢性疾患の人のみならず、健康を意識する人に広く受け入れられる（もちろん機器性能や安全性が保証され、リーズナブルなコスト〔装置代＋維持費〕設定が必要）。

健康医療 IoT 社会の実現には、健常者も含め、全ての人が簡便かつ無拘束、非侵襲に、そして身体に装着していると感じさせないような生体親和性や融和性に優れたデバイスやシステムの開発、また非接触にて生体情報をモニタリング（イメージング）する技術が不可欠である。そして、これらデバイス開発や計測技術には既存の MEMS 素子やバイオセンサを高度化し、機能性材料や生体材料を利用した高機能なナノバイオデバイスとして構築する必要がある。本講演

では、演者らが研究開発を進めているセンシングデバイスとして、生体適合性材料と MEMS 技術を組み合わせたソフトコンタクトレンズ型グルコースセンサと、肝臓などの薬物代謝酵素を利用した高感度な生化学式ガスセンサ（バイオスニファ）と、その計測技術を応用した生体ガス（揮発性バイオマーカー）のバイオイメーjingについて概説し、健康医療 IoT 社会を基盤とする「医療の未来像」を考える。

■略 歴

1983年3月 豊橋技術科学大学 工学部エネルギー工学科 卒業
1985年3月 豊橋技術科学大学大学院 工学研究科 修士課程 エネルギー工学専攻 修了
1994年9月 東京大学大学院 工学系研究科 博士課程 先端学際工学専攻 修了（短縮）
博士（工学）（東京大学）（甲 10820, 博工第 3275 号）
1998年4月 東海大学 工学部電気工学科 助教授
2003年9月 東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 計測分野（現：センサ医工学分野）教授
2011年 仏国ベルピニアン大学 IMAGES 研究所 客員教授
（2008年4月～2011年3月 同大学 評議員）
（2011年8月～2014年3月 同大学 学長特別補佐〔評価担当〕）
（2014年4月～2017年3月 同大学 副理事〔企画・大学改革担当〕）
現在に至る

2011/2 経済産業省 「医療支援事業」評価委員
2012/1 文科省 科学技術戦略推進費「実用化プログラム」諮問委員会委員
2012/7- JST・東京都「地域結集型研究開発プログラム事業」アドバイザー
2012/1-16/3 JST「安全・安心な社会のための犯罪・テロ対策技術等を実用化するプログラム」
民谷プロジェクト諮問委員
2014/10- 現在 JST「スーパーサイエンススクール事業」東海大学附属高輪台高校運営指導委員
2013/8-15/7 JSPS 特別研究員等審査会専門委員及び国際事業委員会書面審査員
2014/7-15/3 JST 研究開発戦略センター（CRDS）ライフサイエンス・臨床医学ユニット
「俯瞰報告書」協力委員
2014/9-15/11 農水省農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業 プロジェクトアドバイザー
2016/2-16/3 農林水産省 「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業」審査評価委員
2016/7-17/3 JST 研究開発戦略センター（CRDS）ナノテクノロジー・材料ユニット
「俯瞰ワークショップ」委員
2016/7-17/3 JST 研究開発戦略センター（CRDS）ライフサイエンス・臨床医学ユニット
「俯瞰報告書」協力委員
2017/2-18/3 農林水産省 「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業」審査評価委員
2017/4- 現在 次世代化学材料評価技術研究組合（つくば産総研内）顧問
2019/5- 現在 NEDO 微量センシングプロジェクト 研究代表
2019/9- 現在 JST-ERATO 評価委員
など

第36回全日本民医連循環器懇話会 in 北海道 プログラム・抄録集

実行委員長：奥山 道記

事務局：五味川 卓（勤医協中央病院 医事2課）

〒007-8505 北海道札幌市東区東苗穂5条1丁目9-1

TEL：011-782-9111（代） FAX：011-782-5451

E-mail：ikyoku-j@kin-ikyo-chuo.jp

出版：株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025

<https://secand.jp/>

第36回全日本民医連循環器懇話会 in 北海道 実行委員会 事務局

五味川 卓(勤医協中央病院 医事2課)

〒007-8505 北海道札幌市東区東苗穂5条1丁目9-1

TEL:011-782-9111(代) FAX:011-782-5451

E-mail:ikyoku-j@kin-ikyo-chuo.jp